

会 議 名	第1回港区環境基本計画策定のための基礎調査業務委託事業候補者選考委員会
開 催 日 時	平成31年4月15日（月） 午前9時30分から午前10時30分まで
開 催 場 所	区役所8階 環境リサイクル支援部会議室
委 員	出席者 5名 環境リサイクル支援部長 新井 樹夫（委員長） 環境リサイクル支援部環境課長 茂木 英雄（副委員長） 街づくり支援部都市計画課長 富田 慎二（委員） 環境リサイクル支援部地球温暖化対策担当課長 大久保 光正（委員） 環境リサイクル支援部みなとりサイクル清掃事務所長 重富 敦（委員）
事 務 局	環境課環境政策係
傍 聴 者	なし
会 議 次 第	1 港区環境基本計画策定のための基礎調査業務委託事業候補者選考委員会の設置について 2 港区環境基本計画策定のための基礎調査業務委託仕様書について 3 議題 （1） 事業候補者選考方針（案）について （2） 事業候補者募集要項（案）及び提出書類について （3） 採点基準（案）について 4 その他 スケジュールの確認（参考資料2）
配 付 資 料	資料1 港区環境基本計画策定のための基礎調査業務委託事業候補者選考委員会設置要綱 資料1-2 港区環境基本計画策定のための基礎調査業務委託事業候補者選考委員会委員名簿 資料2 港区環境基本計画策定のための基礎調査業務委託事業候補者選考方針（案） 資料3 港区環境基本計画策定のための基礎調査業務委託事業候補者募集要項（案） 資料4 提出書類一式（様式1～10）（案） 資料5 採点基準表（一次審査）（案） 資料5-2 採点基準表（二次審査）（案） 参考資料1 港区環境基本計画策定のための基礎調査業務委託仕様書（案） 参考資料2 選考スケジュール（案）

会議の結果及び主要な発言

事務局	<p>1 港区環境基本計画策定のための基礎調査業務委託事業候補者選考委員会の設置について</p> <p>(事務局が、資料1及び資料1-2に基づき説明)</p>
事務局	<p>2 港区環境基本計画策定のための基礎調査業務委託仕様書について</p> <p>(事務局が、参考資料1に基づき説明)</p>
A委員	<p>ヒアリングを実施する学識経験者5名について、目途はたっているのか。</p>
事務局	<p>今回のプロポーザルで提案していただいた中で決めていく予定であり、まだ決まっていない。</p>
A委員	<p>学識経験の先生は忙しいので、スケジュールを調整するのが大変である。</p>
B委員	<p>加熱式たばこについて以外で、前回と違う事項について教えてほしい。つまり、前回の課題と新しい狙いについて。</p>
事務局	<p>今回の仕様書の案づくりの中では、新しい切り口を最初から盛り込んでいくというよりは、これから基本計画の策定方針も出てくるので、そこと連動して一緒に考えていかなければいけないということで、最初からプロポーザルに向けて、これだというふうにはあまり入れずに、提案を待つ部分とこれからの変化に対応していかなければいけない部分もあり、まだたたき的な要素が強い。</p>
C委員	<p>参考に教えてほしいが、2ページから3ページのアンケート調査のイのところ、大・中小企業アンケートとあるが、大企業と中小企業は、どういう基準で分けるのか。</p>
事務局	<p>前回は、まずエネルギー使用量・温室効果ガス排出量の大きい事業所を大規模事業者とみなし、東京都の「総量削減義務と排出量取引制度」の対象事業者の中から抽出するのとあわせて、経済センサスデータの従業者規模の区分を適用して、従業員100人以上の事業所を大規模、5～99人の事業所を中小規模として、従業者数合計の比率に応じて抽出した。今回もそれを参考にしながら、決定したいと思っている。</p>
D委員	<p>32年度までの計画から切り替わるということで、オリンピック・パラリンピック終了後という中で、事業者の提案に委ねる部分は分かるが、区として持っていなければいけない視点というか、そういったところをもう少し仕様の中で、あるいは事業者から提案を受ける中で宿題みたいな形で飲み込めないかと思った。</p>

	<p>例えばオリパラ後の観光客の増加もそうだし、高輪ゲートウェイ駅をはじめとする街づくりもそうだし、SDGsみたいな考え方であるとか、そういった視点が、あるいは分析手法としてはRESASみたいなものもあって、そういう新しい視点を事業者任せではなくて、こちらから問題意識を持って提案をしてもらうという仕掛けもあってもいいのではないのかなと思った。</p>
B委員	<p>今D委員が言ったように、ちょっと不十分かなという気がする。例えば今流行のプラスチックの問題だとか、木材活用とか森林整備とか、森林環境税などもできたわけなので、森林環境税にまつわる何かとか。何か課題・アイデアが出てくるかもしれない。我々が欲しい情報を視点ということで1行2行書くだけでいいので。少し考えたら結構ある感じがする。</p>
D委員	<p>新しい項目として加熱式たばこというと妙に細かいので、それよりも他に何かあるのではないか。</p>
B委員	<p>お台場の海水浴とか、区長の発言もヒントにして、そこからいくつか。書くのと書かないとではすごく違う。</p>
事務局	<p>後ほど説明する募集要項で、区の環境の現状をしっかりと理解している事業者に、今後の課題を含めて、新しい項目を提案してくださいというのを様式の方にはおさえているが、もう少し意見をいただいたキーワードを仕様に入れたいと思う。</p>
B委員	<p>確かに基礎調査なので、それをあげてもらって課題を見るということもあるかもしれないが、前回と同じことをやっても仕方ない。手間をかける必要はない。箇条書きで仕様書に少し加えるということだよ。</p>
	<p>3 議題</p>
	<p>(1) 事業候補者選考方針(案)について</p>
事務局	<p>(事務局が、資料2に基づき説明)</p>
	<p>(2) 事業候補者募集要項(案)及び提出書類について</p>
事務局	<p>(事務局が、資料3及び資料4に基づき説明)</p>
	<p>(3) 採点基準(案)について</p>
事務局	<p>(事務局が、資料5及び資料5-2に基づき説明)</p>
D委員	<p>この先の話についての質問になるが、ここで選ばれた事業者はその翌年度の策定支援業務についても、基本的に随意契約でお願いしたいという前提なのか。</p>

事務局	本来であればそう言いたいところではあるが、環境基本計画が他の計画との統合という別の課題が今あって、必ずしもそれが本当にいいのかというのは別に判断する必要があるので、前提には考えていない。
D委員	応募期間がゴールデンウィークの10連休を挟んだときに実質的に何日になるか。いろいろな事業者に参加をしてもらいたいという前提の中で、10連休を挟み、改元でバタバタする可能性もある中で、厳しいのではないかと。公募に気づいて、やる気が出てくるかという視点で少しどうなのかなと率直に思った。
事務局	休日を除いて11日。ガイドライン上2週間なので、それには沿っている。
D委員	あと事業者の採点というか、加点する項目として、ワーク・ライフ・バランスというのは全庁的なルールだと思うが、これ以外に何か独自でつけることはガイドライン上許されないのか。 環境部門が作る計画なので、ワーク・ライフ・バランスも大事だが、リサイクルでもリユースでも、たばこの問題だったり、あるいはプラスチックの話、木材でもいいが、そういうところをちゃんとしている事業者にやってもらいたいという気持ちはあって、環境配慮がずさんな事業者が受注してしまうようなことがないように独自に設定できないのか。
事務局	おそらくここで考えるテーマであって、決めればできないことはないと思う。
D委員	契約管財課が作成しているガイドラインはどのぐらい縛りがあるのか。
事務局	プロポーザル全般に係ることではあるので、物差しをあまり自由自在にアレンジすることについての是非というのは、次の選定委員会のために、しっかり説明する必要がある。
E委員	資格を持っているか持っていないかで判断してしまうと、それを事前に公表していないと、なかなかそれを物差しに入れるのは厳しいのかと思う。
D委員	提案の中で拾うとか。ワーク・ライフ・バランスよりもそちらの方がこちらがお付き合いする事業者を選ぶ上では実は重要ではないかと思う。 採点はしないが参考資料でもらうとか。環境マニフェストのようなものを付けてもらおうとか。そういうことがあったらいいのではないかと思う。
C委員	スケジュールの関係に関連してだが、前回温暖化対策推進計画の方で、スケジュールリングが非常に難しかった。今回も委員に審査のお願いをするに当たって、何日も無いぐらいの話になってきたりしかねないので、そこはしっかりおさえて進めてほしいと思うが、今のところで、どんな感じで把握されているのか教えてほしい。
事務局	スケジュールについては、参考資料2で説明したい。 5月10日金曜日に応募を締め切り、委員には翌週5月14日には送付し、一週間で

	採点をしていただいた上で、5月23日に2回目の選考委員会という形でお願いしたいと考えている。
C委員	基本的には委員の方には日にち的にそれほどキチキチになるということはないということか。
事務局	応募事業者の数によっても違って来るが。
A委員	様式はA4サイズで作成するということが、枚数は特に限定はしないか。 例えばA事業者は3枚書いて来たりとか、1枚で終わるとか、そこは整理しなくて、事業者の方に委ねるという形か。
事務局	今回示した様式の数プラス10で全体を構築して提案していただく。どの様式が不足して補足するかは事業者側にお任せする。
B委員	応募締切が5月10日だと、10連休が入ると実質2週間ぐらいということだが、結果としては1者にならないようにしてほしい。
D委員	様式7と様式9の使い分けだが、様式7は地域特性等を踏まえて現状についての考察で、様式9についても前段では港区の環境施策の考察、そして課題解決となっている。もう少しはっきり分けて、様式7の方については港区の環境施策も含めた考察として、様式9については課題解決の取組として、その視点ではっきり分けた方がいいのではないか。また、先ほど議論になったヒントについて、例えば人口増でも開発でもオリンピック・パラリンピックでもSDGsでも海洋プラスチックでも何でもよいが、様式9の方にこの視点を持ってというようなヒントを散りばめるような形にして書いてもらおうと、採点もしやすいと思うし、事業者の力量も分りやすいと思う。
B委員	そういう方向で調整してほしい。
事務局	表現は後ほど相談させてほしい。
B委員	基本計画を作った人は分かると思うが、最も格好悪いのは、最新ではないこと。見直しの時もそうだが、最新の文言が溢れ返っているようなものにしたい。古臭いものを新たに作ること自体が格好悪いので、基本計画を作る時は最後の最後まで新しい文言、言葉が出てきたらそれをぎりぎりまで入れるようにする。様式9の中に、それを誘導できるように、ヒントを与えて、最新のものについて考察してもらえるようにしてほしい。常に最後の最後まで、新しいものを入れていく。その視点でお願いしたい。他になければ、今の意見について少し修正をするということによろしいか。
各委員	はい。
A委員	7月からの調査期間だと、トレンドが動いている中で、そこを捉えていくには少しタイトだと思うので、そこは少し工夫してもらえればと思う。

<p>事務局</p> <p>B委員</p>	<p>4 その他 スケジュールの確認</p> <p>(事務局が参考資料2をもとに、今後のスケジュールを説明)</p> <p>本日の議案については全て終了したので、第1回選考委員会はこれで閉会する。</p> <p>【決定事項】</p> <p>以下の点について修正の上、提案のとおり決定した。</p> <p>(1) 区としてこういった視点を持って提案してほしいという方向に誘導できるよう、仕様書や企画提案書の様式の中にヒントとなるようなトレンドの文言を入れる。(例：東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会後、海洋プラスチック等)</p> <p>(2) 環境施策の現状と課題に関する考察は、様式7にまとめる。</p>
-----------------------	---